

麻生区区民会議 第7回安全・安心のまちづくり部会 議事要旨

1 開催日時：平成25年4月9日（火）午後3時00分～午後5時30分

2 開催場所：麻生区役所第2会議室

3 出席者：[安全・安心のまちづくり部会委員]

加賀美委員、村主委員、高倉委員、田中委員、長谷川委員、吉田委員、横山委員
（梶委員、久保倉委員、高瀬委員は欠席）

[事務局]

鈴木企画課課長、白石担当係長、佐伯、小田

4 傍聴者： 1名

5 議 事

(1) 調査審議課題の具体的検討について

① 最優先テーマの活動内容について

(モデル事業自体の実施について)

【説明事項】

部会長より説明 →モデル事業を中心とする活動計画を具体化していきたい。モデル事業を実施して得られる情報を活かし、防災対策の普及啓発につなげたい。（提言として取りまとめる）

【主な意見】

- ・ コスト、不公平感、公共性、提案の斬新さ（既存の事業で重複する取り組みがあるのではないか）に関して、モデル事業を実施することへの懸念がある。
- ・ 費用をかけずに町内会・自治会単位などで防災に関する啓発をすることが重要ではないか。
- ・ モデル事業の実施内容をこれからつめていくにあたって、懸念されている不公平感や公共性などにも配慮していくべき。
- ・ モデル事業を実施することが部会の目的ではなく、モデル事業を行い、より具体的な提言内容に活かすための情報収集として考えている

(活動計画（案）集約シートについて)

【説明】（集約シート（資料1-1）について4人の委員から説明）

- ・ モデル事業を行い、その結果を普及啓発につなげる。防災関連団体と連携し、成果を普及させる。モデル事業では、家具の転倒防止、火災予防、家屋の倒壊防止の優先順位とするが、対象グループの状況により必要に応じて耐震に関する情報の提供なども進める。対象地区を決めて説明会を行い、対象世帯の調査対策実施者の選定、実施後のアンケートなどを行う。普及啓発には、楽観バイ

アス排除のため子どもの力を借りることや防災教育、一般区民対象のものが考えられるが、DVDや冊子などの媒体は、普及の手段により異なる。

- ・ 対象グループの全家庭が積極的に防災に取り組みことにつなげたい。対象は戸建て住宅・マンション両方としたい。家具の転倒防止を第一とし、次いで家屋の倒壊防止、火災予防は比重を落とす順番で。活動にあたり区内の建築業者との連携もありえる。DVDでは見る機会が限られるので、DVDより印刷物の作成・配布を行いたい。
- ・ モデル事業を手段としてとらえ、その取り組み経過をDVD作成に活用し、DVDを通した防災レベルの向上を目指す。楽観バイアスの解消、普及啓発団体へのインセンティブ、他区への働きかけが提言のイメージ。モデル事業は媒体を作成するための手段であり、対象地区はやる気のある人がいるところを選ぶ。
- ・ 具体的に防災対策を実施し成果を出すだけでなく、成果を活用して啓発につなげる。モデル事業を通してノウハウの普及を図り、効果の評価を行う。冊子・パンフレット等の紙媒体によるイベントを活かした周知を進める。地区の選定は公募として、公平なプロセスで行う。家具の転倒防止対応を中心として行い、耐震補強等のアドバイスをしていく方向で共助に力を入れる。事業の進め方としては、学識者の支援を仰ぎ、大学生のサポートを得るという方向もある。事業全体の企画・成果の取り纏めを区民会議で行い、専門家・技術者等を活かして普及につなげる。

【主な意見】

- ・ のどもと過ぎればではダメで、長く続けることが大切。DVDのように継続して見ることができ、長く続けて周知していけるものとしてほしい。モデル事業を活かして取り組むことで、無理せず伝えていける方向で考える。
- ・ 行政でも既存の資料（ぼうさいライブラリー）は所持しており、イベントで上映するなど、いかにして市民に広めていくかが重要
- ・ 家具の転倒防止・家屋の倒壊防止などに関する市の資料もあり、市民への貸し出しが可能である。ただし、活用されているかが問題。区民まつり、地域の祭りなどで活用しPRしていくことが大切。
- ・ 市のDVDの内容を、一度確認したい。

（活動計画案について）

【説明事項】

部会長より、資料1-2について説明があり、部会の活動計画に関する検討・協議を行った。

【主な意見】

- ・ 家屋の倒壊防止に関してモデル事業でできることは、対象地区における古い建物の所有者に耐震診断の受診を促し、対応に関する情報を提供する程度までではないか。
- ・ 被害予想における死亡原因では家屋の倒壊・火災によるものが最も多いことか

- ら、家屋の倒壊防止を積極的に進めるところまでを活動内容に盛り込みたい。
- ・ 安全という面から自宅周辺への配慮を意識してもらい、気持ちに訴えるようにしないといけない。やる気にさせることが重要である。
 - ・ 個人財産に関与するところまでの取り組みは難しいのでは。（家屋の倒壊防止耐震補強は個人の財産に関するところが大きい）
 - ・ 家具の転倒防止は、対象が戸建て・マンションに関係なく共通して取り組める。
 - ・ モデル事業は家具の転倒防止を中心としつつ、家屋の倒壊防止（耐震診断・補強等）に当てはまる対象者があれば、対応を検討・取り組んでいく方向性もありえる。
 - ・ 地区の状況に合わせて事業内容を検討し、部会の目標である「助かる命を守る」を実践できるように進めることはできると考える。

【決定事項】

- ・ 対象地区を設定し、モデル事業としては家具の転倒防止を優先的に実施する。
- ・ 市で貸し出している既存の防災DVDの内容を確認する。
- ・ モデル事業の内容については、4/17（水）に勉強会を行い、検討・協議を諮り企画部会に向けて取りまとめを進める。
- ・ 5/20（月）全体会でモデル事業計画について報告する。

② 区民会議フォーラムについて

次回勉強会（部会）に持ち越し

(2) その他

補足勉強会：平成25年4月17日（水）14時～

今後の部会：平成25年5月14日（火）15時～

以上